

都市再生整備計画 事後評価シート  
気高地区

令和4年2月

鳥取県 鳥取市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鳥取県	市町村名	鳥取市	地区名	気高地区			面積	114.0ha
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	157.0百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		市道勝見浜村線の拡幅、ヤサホーパーク屋外ステージ、ウォーキングコース案内板、総合案内板(歴史・文化・観光)、浜村駅南側停車場、浜村駅前広場、浜村駅前トイレ、南北線 街路灯整備、温泉街の道路景観整備						
	提案事業		けたか周遊マップ作成、浜村駅前バス待合所、事業効果分析、気高健康推進計画の策定						
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	ヤサホーパーク屋外ステージ ウォーキングコース案内板 温泉街の道路景観整備	屋外ステージ整備:屋外ステージ設置に伴い自由に使用できるスペースが減ることに対して地元の反対が有り事業中止 案内板整備:維持管理を地元で行うことについて了解が得られず事業中止 道路景観整備:まちなみ整備ガイドラインを策定した後に、整備する予定であったが、合意形成が図れず事業中止			交付期間中に実施ができない事業の削除に伴い、当初計画に掲げる目標の達成が困難となったため、計画目標及び指標の見直しを行う必要が生じた		
		提案事業	浜村駅前バス待合所 気高健康推進計画の策定 けたか周遊マップ作成	バス待合所:JR協議により、駅前前にアーケードを設置し、バスの乗降場所を近接させる計画に変更したため、バス待合所の新設が不要となり事業中止 健康推進計画の策定及び周遊マップ作成:気高健康推進計画を策定し、地域内のウォーキングコース案内板や周遊マップの作成等を予定していたが、案内板の維持管理を地元で行うことについて了解が得られず事業中止					
新たに追加した事業	基幹事業	なし							
	提案事業	なし							
交付期間の変更	当初	平成28年度～令和2年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし				
	変更								

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地区内の居住人口	人	3,358	H27	3,257	R2	-	3,427	○	あり	豊かな自然環境や交通利便性の向上などを背景に、UJターン住宅支援等による空地の利用促進、アパートから新築への移住などにより、地区内の居住人口の増加につながったと考えられる。	
	指標2	JR駅利用者数	人/年	172,000	H27	160,000	R2	-	143,000	×	あり	令和2年度は新型コロナウイルス感染対策(外出自粛や利用控え)等により、乗降客が大きく減少し、目標値を下回ったものと考えられる。しかし、令和元年度までは目標値を上回って推移していることから、駅前広場やトイレ整備、市道拡幅などは駅利用者の利便性向上につながったと考えられる。	令和4年11月頃
	指標3	住民の定住意向に関する満足度	%	77.2	H26	85.0	R2	-	79.0	△	あり	目標値は達成できなかったものの、「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人が減少し、「将来も住み続けたい」と答えた人が増加していることから一定の効果を得られていると評価できる。	令和3年9月
											なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1	その他の数値指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	住民の定住意向に関する満足度2	%	37.7	H26				43.7			道路の拡幅や街灯の照度向上、案内板などによる誘導は、アンケート結果より一定の評価を得ていることから、定住意向に関する満足度の向上につながったと考えられる。	
	その他の数値指標2	生徒の定住意向に関する満足度3	%	46.3	H26				66.3			H26アンケート結果より定住意向に関する満足度は2割増加しており、各種事業の満足度も保護者より高い評価を得ていることから、今後のまちづくりに期待感を感じていると考えられる。	

4)定性的な効果発現状況  
 ・アンケート調査において、事業実施による効果について評価する回答が多く、まちづくりに対する関心を喚起できたと推測される。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

様式2-2 地区の概要

気高地区(鳥取県鳥取市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 安心して住み続けられる生活環境を構築し、市民の日常生活を支える地域生活拠点の再生を目指す。 目標1: 交通結節点の機能強化により、まちの玄関口としての利便性を向上させる。 目標2: 駅にアクセスする幹線整備により、安心・安全で魅力あるまちづくりを推進する。	地区内の居住人口	単位: 人	3,358 H27	3,257 R2	3,427 R2
	JR駅利用者数	単位: 人/年	172,000 H27	160,000 R2	143,000 R2
	住民の定住意向に関する満足度	単位: %	77.2 H26	85.0 R2	79.0 R3



まちの課題の変化	<p>浜村駅は機能性・利便性・安全性等の確保、新たな賑わい空間の創出、人・情報の活性化等が必要 → 駅前広場、トイレなど駅周辺の再整備により、交通結節点としての機能改善、周辺住民・来訪者への利便性の向上が図られた。</p> <p>浜村駅周辺は若い世代の定住促進が課題であり、暮らしやすさと豊かな自然環境を活かす対策が必要 → UJターン住宅支援等により新築住宅が増加しており、浜村駅周辺は若年層に限らず、世帯数、居住人口ともに増加していることから定住が促進された。</p> <p>主要路線、地域の出入口機能として、駅前とICとの動線を確保する → 市道の拡幅により、浜村駅へのアクセス性の向上やIC、鹿野町への新たな動線が確保された。</p> <p>地域の魅力施設のさらなる利用促進とまちのにぎわいに繋げる → 案内板の設置や街路灯の更新により、居住者や来訪者が快適で安心して通行できる道路空間が確保され、交通量が微増していることから、まちのにぎわいに繋がった。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>施設等の適正な維持管理: 整備された施設等を当初の目的に沿って、快適に利用できる環境を維持することが必要である。</p> <p>定住人口の確保、地域コミュニティの維持、新たなにぎわい創出、交通の安全確保: 子育て世代から高齢者まであらゆる世代に配慮したまちづくりを進め、交流人口の拡大を図るため、新たに設立された浜村地区活性化委員会を中心に、沿道緑化や定住促進、自然環境や地域資源を活かした事業計画を検討していく。</p>